



りんやちょう ほっかいどうしんりんかんりきょく 林野庁 北海道森林管理局

こまがたけ おおぬましんりん すいしん **駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター**



〒042-8550 北海道函館市駒場町2-13
TEL0138-51-0381 FAX0138-51-8178
E-mail h_koma_f@rinya.maff.go.jp

この樹木ガイドブックについて

この樹木ガイドブックは、道南で見られる樹木を中心に収録しました。森林を構成する

じゅしゅ こうえんじゅ にわき みぢか じゅしゅ けいさい けいさいじゅん るいじ 樹種だけではなく、公園樹、庭木などの身近な樹種も掲載しています。掲載 順 については、類似

した葉や、亜高山帯などの生育環境ごとに分類しました。

じゅもくはかせにんていかい しんりんかんきょうきょういく じっし にちじょう じゅもく かんさつ やくだ 樹木博士認定会などの森林環境教育プログラムの実施や、日常の樹木の観察に役立てられるよう取りまとめたところです。

参考文献等

「原色日本植物図鑑(木本編) I」「同 II」(保育社 昭和62年) 「原色日本樹木図鑑」(保育社 平成3年) 「北海道 樹木図鑑」(亜璃西社 平成7年) 「山渓カラー名鑑 日本の樹木」(山と渓谷社 平成5年)

樹木ガイドブック 目次

ページ ページ 針葉樹 広葉樹 針 状 葉:はりやトゲ状の形 単 葉:分裂していない葉(高木) イチイ 31 シナノキ 1 ヤマハンノキ ハイイヌガヤ 1 31 トドマツ 2 コバヤマハンノキ 32 アカエゾマツ ツノハシバミ 2 32 ドイツトウヒ アズキナシ 3 32 カツラ カラマツ 3 33 アカマツ 4 ハルニレ 33 クロマツ 4 ケヤキ 34 ホオノキ ハイマツ 5 34 スギ キタコブシ 5 35 ミズキ 鱗 状 葉:うろこ<u>の形</u> 35 ヒノキ 6 エゴノキ 36 クリ ヒノキアスナロ 6 36 ニオイヒバ 7 マメガキ 37 オノエヤナギ 扇 状 葉:おうぎの形 37 ウンリュウヤナギ 7 イチョウ 38 シダレヤナギ 広葉樹 38 羽 状 複 葉:羽のような形 単 葉:落葉する低木 イヌエンジュ 8 ムラサキシキブ 39 ニセアカシア クサギ 8 39 オニグルミ エゾアジサイ 9 40 ノリウツギ サワグルミ 9 40 テウチグルミ 10 ウコンウツキ 41 タラノキ 10 タニウツギ 41 オオバクロモジ ナナカマド 11 41 タカネナナカマド ツリバナ 11 42 ウラジロナナカマド ヒロハツリバナ 12 42 エゾヤマハギ 12 クロツリバナ 42 ヤマウルシ 13 コマユミ 43 シンジュ 13 ナツハゼ 43 ニガキ オオカメノキ 14 44 ヌルデ 14 ミヤマガマズミ 44 キハダ 15 ドウダンツツシ 45 ヤチダモ オオバスノキ 15 45 アオダモ クロウスゴ 45 16 ハナヒリノキ エゾニワトコ 16 46 サンショウ 17 イボタノキ 46 ネムノキ 17 ムクゲ 46 単 葉:常緑の低木 掌 状 複 葉:手のひらのような形 ツルシキミ トチノキ 18 47 フッキソウ コシアブラ 18 47 分 裂 葉:もみじの形 アカミノイヌツゲ 47 オオモミジ マサキ 19 48 48 ハウチワカエデ 19 ヒメアオキ エゾイタヤ 20 イソツツジ 48 アカイタヤ 20 エゾユズリハ 49 ミネカエデ 21 ハイイヌツゲ 49 単 葉:亜高山~<u>高山性の樹木</u> オガラバナ 21 <mark>クロビイタヤ</mark> ハリギリ ミネザクラ 21 50 22 ミヤマハンノキ 50 ウリノキ ミネヤナギ 23 50 モミジバスズカケノキ マルバシモツケ 23 51 ミヤマホツツジ 異 形 葉:単葉で不揃いの葉 51 オヒョウ 24 キバナシャクナゲ 51 ヤマグワ コケモモ 24 52 単 葉:分裂していない葉(高木) シラタマノキ 52 ミズナラ 25 アカモノ 52 コナラ カシワ ブナ つ る 類:木本のつる植物 25 26 ツルアジサイ 53 ヤマブドウ 53 26 アサダ 27 コクワ 54 マタタビ サワシバ 27 54 ※ 凡例 アカシデ 27 ミヤママタタビ 54 ツルマサキ エゾヤマザクラ 28 55 道南の郷土樹種 シウリザクラ 28 55 日本自生の樹種 ソメイヨシノ 29 ツタウルシ 56 外国産樹種 シラカンバ 29 他の木に寄生する植物 ダケカンバ ヤドリギ 30 56 ウダイカンバ 英名の()は、近似腫 30

針葉樹

○針状葉:はりやトゲ状の形

じょうりょくこうぼく イチイ科 イチイ属 イチイ(オンコ、アララギ) (常緑高木)

学名: Taxus cuspidata 英名: Japanese Yew







とがるが

* 葉: <mark>短い線</mark>のような形で扁平、

うら きみどりいろ ほんせん さき 裏に<mark>黄緑色の2本線、先がとがるがいたくない</mark> ゎゕ゜^{ぇぇ} 若い枝には<mark>らせん 状</mark> で、しだいに<mark>左右2列</mark>につく

* 幹: 皮が赤褐色で、浅く縦に裂ける

・材の色が<mark>朱色</mark>をおびているので<mark>赤木(アカギ)</mark>

とうほくちほう あいしょう

→東北地方の愛称「アカギッコ」→アッコ→オッコ→オンコ

・イチイは 甚 だ赤い木材から「<mark>甚緋</mark>」



ハイイヌガヤ (エゾイヌガヤ)

イヌガヤ科 イヌガヤ属

(常 緑 低木)

がくめい 学名:Cephalotaxus harringtonia 英名:(Plum-yew) とがるが 痛くない







は せんけい へんべい じょう えだ ちゅうしん うじょう to なら 葉:線形で扁平、らせん 状につくが枝を中心に羽状に左右2列に並ぶ te to but the star あんりょくしょく うら ほん Lo to ecoto きこうたい 先が 急 に尖るが痛くない、 表 は暗 緑 色 、裏は2本の白い線 (気孔帯)、

たか ていぼく しゃじょう たせつちたい てきおう ・幹:高さ1~2mの低木、斜上する、多雪地帯に適応している

かじつ しゆういしゅ あわ べにむらさきいろ べにいろ じゅく かしょく かじつしゅ 果実:雌雄異株、淡い紅 紫 色~紅色に 熟 す、ヤニくさいが可 食 (果実酒)

トドマツ マツ科 モミ属 (常緑高木)

がくめい 学名: Abies sachalinensis 英名: Sakhalin fir

先が2つに割れる 裏に白い2本線







なめらかな幹と樹脂溜まり

*葉: <mark>短い線</mark>のような形で、先が2つに分かれている まには<mark>白い2本の線がありらせん 状につく、柔らかい感じ</mark>

* 幹: 皮は灰 白 色、多数の

樹脂 (マツヤニ) 溜まりがある

* 枝: 一年ごとに一段ずつ輪生し、水平か斜 上 してのびる

・アイヌ語:トトロップ

* 機: 枝が毎年一段ずつ輪生してのびる

がわしょくぶつぐんらくほごりん しりうちちょう じせいなんげん・ムズルセ川 植物 群落保護林(知内町):トドマツの自生南限

アカエゾマツ (ヤチシンコ)

マツ科 トウヒ属 じょうりょくこうぼく

がくめい 学名: Picea glehnii 英名: Sakhalin Spruce







は みじか はり かたち じょう だんめん しかくけい おもて こ みどりいろ うら うす みどりいろ・葉: <mark>短 い針</mark>のような 形 でらせん 状 につく、断面は四角形、 表 は<mark>濃い緑 色</mark>、裏は薄い緑 色 先がとがり チクチクする

» かわ こくせきかっしょく ふきそく うろこ っ あらあら • 幹:皮が黒赤褐色、不規則で鱗をはり付けたように荒々しい ^{たわ、あか} 皮が赤みをおびた蝦夷の松 → アカエゾマツ

* 枝: 大きな枝を水平かやや垂れて出す

ほっかいどう き してい ・「北海道の木」に指定されている、ピアノやバイオリンなどの材料

しょくぶつぐんらくほごりん おしゃまんべちょうくんぬい なんげん・ 植物群落保護林(長万部町国縫):アカエゾマツの南限

ドイツトウヒ(ヨーロッパトウヒ) マツ科 トウヒ属 (常緑高木)

がくめい 学名: Picea abies 英名: Spruce (ヨーロッパ原産)





*葉:<mark>針のような形でらせん状につく、暗緑色で光沢がある</mark> だんめん しかくけい めん はくしょく きこうせん 断面は四角形で、4面に白 色の気孔線がある

* 幹: 樹皮ははじめ褐色で老木になると黒っぽくなり、

^{うろこじょう あっ} 鱗状に厚くはげる

み きゅうか えんちゅうけい せいじゅく かっしょく た さ ま : 球果は円柱形で成熟すると褐色になり垂れ下がる

に こえだ た さ は なが きゅうか おお くべっ ・アカエゾマツに似るが、小枝が垂れ下がること、葉が長いこと、球果が大きいことで区別できる

ほっかいどう めいじちゅうきいこう てつどうぼうふうりん ひろ しょくさい・北海道では明治中期以降、鉄道防風林などに広く植栽された



<mark>カラマツ(ラクヨウ、ニホンカラマツ)</mark> マツ科 カラマツ属

がくめい 学名: *Larix kaempferi* 英名: Japanese Larch





t th かたち へんぺい たんし ほん たばじょう ・葉: <mark>線</mark>のような 形 で扁平、短枝には 20~40本が<mark>東 状</mark> につく 長枝には、らせん 状 につく ^{あき おうよう} らくょう らくょうまつ **秋に黄葉し落葉する、落葉松**

ふゆめ きゅうけい じょう 冬芽は球 形でらせん 状につく

*幹:通 直にのびる、樹皮は灰褐色 ほそなが たて うろこじょう 細長い縦の鱗状で剥がれる

・もともと北海道には生えていなかったが、多く植えられている



アカマツ (メマツ) マツ科 マツ属 (常緑高木)

がくめい 学名: *Pinus densiflora* 英名: Japanese red pine







は はり ほそなが かたち ほん ひとたば ・葉: 針のような細長い 形、2本が一束でつく った。 付け根は<mark>赤っぽいもの</mark>で束ねられている しなやかで柔らかい感じ、断面は半円形、

 みき かわ せきかっしょく かめ こうらじょう わ うろこじょう は

 ・幹:皮は赤褐色、亀の甲羅状に割れ、鱗状に剥がれる

thし ちょうじゅ いわ もち かどまつ しょうちくばい 音から長寿のお祝いなどに用いられる(門松・松竹梅)

・<mark>葉が二股</mark>に分かれるからマタ (股) → マツ

ないりくぶ そだ かいどう ななえちょう ・ 内陸部に育ちやすい、アカマツ街道 (七飯町)



クロマツ (オマツ)

じょうりょくこうぼく (常緑高木) マツ科マツ属

がくめい 学名: Pinus thunbergii 英名: Japanese black pine







は はり ほそなが かたち ほん ひとたば ・葉: 針のような細長い 形、2本が一束でつく っった。 付け根は<mark>白っぽいもの</mark>で東ねられている アカマツより<mark>太くて 緑 も濃い、</mark>断面は半円形 ^{さき} かた とが きゃ 先が<mark>堅く尖り、触るとごわごわして痛い</mark>

・幹:皮が黒っぽい、亀の甲羅のように割れている かいがん ぼうふうりん おお すなさかかいがんりん えさしちょう 海岸の防風林に多い、砂坂海岸林(江差町)

ハイマツ マツ科 マツ属 (常緑低木)

がくめい 学名: *Pinus pumila* 英名: Creeping Pine







こうざんたい は ょ ぇだゎ
・ 高山帯に生え良く枝分かれする

は はりじょう ほんひとたば だんめん りょうけい はいめん しんりょくしょく ないめん はくせん ほん・葉: 針状、5本一束、断面は3 稜形、背面は深 緑色 、内面は白線2本

みき ねもと ほふく さき しゃじょう
・幹:根元は匍匐、先はやや斜 上 する

スギ スギ科 スギ属 (常緑高木)

がくめい 学名:*Cryptomeria japonica* 英名:Japanese Red Cedar







*葉: <mark>鎌の</mark>ような 形 のトゲがらせん 状 につく、断面はひし型

・幹:通 直 、樹皮は赤 褐 色 で、細長く縦に裂ける

・スギ=直木(すくき): 幹が真っすぐ上にのびる木

* ・ / 形の葉がたくさんつくことから「木偏に彡」は俗説 まぎ (「杉」は、本来、中国のコウヨウザンのこと)

針葉樹

◎鱗状葉:うろこの形

じょうりょくこうぼく ヒノキ科 ヒノキ属 ヒノキ (常緑高木)

がくめい 学名:*Chamaecyparis obtusa* 英名:Hinoki Cypress





見分けるポイント

は うろこじょう こま は つら うらめん たんりょくしょく しろい じがた きこうせん ・葉: **鱗 状 の細かな葉が連なる、裏面は淡 緑 色 で白いY字型の気孔線がある**

じゅひ せきかっしょく に はばびる たて さ **b**6 ・ 幹:樹皮は赤 褐 色 でスギに似るが、幅広に縦に裂けて粗くはがれる

 み きゅうか
 ちょっけいやく
 きゅうけい
 せいじゅく
 せきかっしょく

 ・実:球果は、直径約1cmの球形で、成熟すると赤褐色になる

 けんちくよう

・本 州では古くから、スギとともに建築用として植林されいる

ヒノキアスナロ(ヒバ)

じょうりょくこうぼく (常緑高木) ヒノキ科アスナロ属

がくめい 学名:*Thujopsis dolabrata* 英名:(Hiba Arbor-vitae)





は うろこじょう こま は つら ひょうめん のうりょくしょく あっ さき ・葉: <mark>鱗 状</mark>の細かな葉が連なる、表 面は濃 緑 色 で厚くつやがあり先はとがる うら こめつぶ しろ もよう きこうせん むしゃえ げ うし つの 裏に米粒のような白い模様(気孔線)がある 《武者絵のまゆ毛、牛の角》

*幹:皮は赤褐色、縦に長く裂ける

* **厚い葉のヒノキ**→厚葉檜→アツハヒノキ→アスハヒノキ(方言名)

しょくぶつがくしゃ まきのとみたろう ・和名のヒノキアスナロは植物学者の牧野富太郎が命名

じせいほくげん えさしちょう とどがわ てんねんきねんぶつ・自生北限(江差町 椴川): 天然記念物

ニオイヒバ ヒノキ科 クロベ属 (常緑高木)

きた ちゅうほくぶげんさん (北アメリカ中北部原産) がくめい 学名:*Thuja occidentalis* 英名:Northan white cedar







は うろこじょう こま は つら さき とが らんけい ひら じょうめん のうりょくしょく かめん せいりょくしょく 葉: <mark>鱗 状 の細かな葉が連なる、先は尖る、卵形で平たい、上 面は濃 緑 色、下面は青 緑 色</mark> ^は葉をつぶすと強い香りがある→二オイヒバ

* 実: 球果は長だ円形

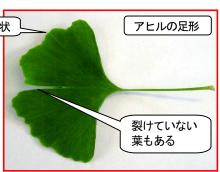
*葉から精油をとり薬用にする、生け垣などに利用される

◎扇状葉:おうぎの形

らくようこうぼく **(落葉高木)** イチョウ科 イチョウ属 イチョウ

ちゅうごくげんさん がくめい 学名: Ginkgo biloba 英名: Maidenhair tree (中国原産)







は まうぎ かたち うす かくしつ れつ はじょう どんきょし・葉: 扇・アヒルの水かきの 形、薄い革質、2裂するか波 状 の鈍鋸歯 ょうへい なが ょうみゃく ぶんき へいこう たっ 葉柄は長い、葉 脈は分岐して平行しふちに達する、 た。 ちょうし ごせい たんし そくせい あき おうよう らくよう 長 枝では<mark>互生、短枝では東生、秋に黄葉し落葉する</mark>

あわ かいかっしょく ふぞろ あさ じゅうれっ 幹:淡い灰褐色、不揃いの浅い縦裂

 $\delta \phi$ め えんすいけい さんかくじょうらんけい たすう かっしょくりんべん ようこん いかんそく こ・冬芽:円錐形~三角状卵形、多数の褐色鱗片、葉痕の維管束2個

・果実:外皮は黄色い肉質で臭気が強い、果肉をさわるとかぶれる、ギンナンは食用

きょうりゅう じだい き ちゅうごくげんさん ちょうめい ぼうがりょく つよ いた ざいりょう しゅういしゅ ・ 恐 竜 がいた時代からある木、中国原産、長命で萌芽力が強い、まな板の材料、雌雄異株 ちゅうごくそうじだい はつおん

「鴨脚」ヤーチャオ(中国宋時代の発音)→イーチャオ→イチョウ



◎羽状複葉:羽のような形

マメ科 イヌエンジュ属 (落葉高木) イヌエンジュ

デスタン デスタン デスタン デスタン デスタン デスタン デスタン 学名: (Maackia)





は こせい きすううじょうふくよう しょうよう まい らんけい ぜんえん・葉: 互生、奇数羽状複葉、小葉は7~13枚、卵形で全縁 きぶ えんけい せつけい ひょうめん しんりょくしょく うらめん りょくはくしょく 基部は円形~切形、表面は<mark>深緑色</mark>、裏面は<mark>緑白色、</mark> わかば うらめん さいもう みっせい ぎんはくしょく 若葉は裏面に<mark>細毛を密生し銀白色</mark>

はな ふくそうじょうかじょ おうはくしょく ちょうけいか・花:複総状花序、黄白色、蝶形花

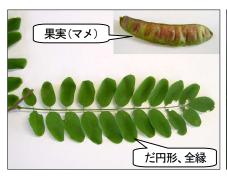
sop の ごせい こうらんけい らんけい さき とが たんなんもう まい がりん - 冬芽: 互生、広卵形~卵形で先は尖る、短軟毛、2~3枚の芽鱗、

ゕゟょうが そくが ぉぉ 仮頂芽は側芽より大きい



ニセアカシア (ハリエンジュ) マメ科 ハリエンジュ属

がくめい 学名:*Robinia pseudo-acacia* 英名:Locust tree (北アメリカ東部原産)







は きすううじょうふくよう ごせい しょうよう まい えんけい ぜんえん なめ ・葉: 奇数羽状複葉、互生、 小 葉は7~19枚、だ円形で全縁 (滑らか)

* 枝: トゲは托葉針、葉の左右に2本

はな かすい そうじょうかじょ はくしょく ちょうけいか ・花:下垂する 総 状 花序、白 色 の 蝶 形花

・葉がアカシアに似ているから「-セ」のアカシア → ニセアカシア

トゲがありエンジュの葉に似ているから → ハリエンジュ

* 明治初期に渡来した帰化 植物、適地を選ばず繁殖力が強い、蜂蜜がとれる

オニグルミ クルミ科 クルミ属 (落葉高木)

がくめい 学名: *Juglans mandshurica* 英名: Japanese Walnut







実

t こせい きすううじょうふくよう えださき しゅうちゅう しょうよう まい 葉: 互生、<mark>奇数羽状複葉、枝先に集中、小葉は9~19枚</mark> ちょう えんけい うら せいじょうもう しょうよう ようへい 長だ円形、裏に星状毛、小葉に葉柄はない

あんかいかっしょく ふか たて さ わかぎ かいはくしょく へいかっ ・幹:暗灰褐色、深く縦に裂ける、若木は灰白色で平滑

 sip め
 b が
 こせい えんすいけい
 えんすいじょうらんけい
 せんたん とが

 - 冬芽: 裸芽で互生、円錐形または円錐状卵形、先端は尖る

ょうこん じがた ひつじ さる かお に 葉痕は<mark>T字形</mark>(羊 や猿の顔に似る)

_{あうかっしょく} のうかっしょく みじか け みっせい ちょうが そくが とく ぉぉ 黄 褐 色または濃 褐 色で 短 い毛が密生、頂芽は側芽より特に大きい

サワグルミ (カワグルミ) クルミ科 サワグルミ属 (落葉高木)

がくめい 学名:*Pterocarya rhoifolia* 英名:Wingnut







は ごせい きすううじょうふくよう さいきょしえん りょうめん なんもう さんせい 葉: 互生、奇数羽状複葉、細鋸歯縁、両面に軟毛を散生 えいせんとう しょうよう まい そくしょうよう きょうちょう えんけい むへい 鋭尖頭、小葉は9~12枚、側小葉は狭長だ円形で無柄 ちょうしょうよう えん ちょう えん ゆうへい 頂小葉はだ円~頂だ円で有柄

・沢沿いの湿ったところに生えるクルミ → サワグルミ



テウチグルミ (カシグルミ) クルミ科 クルミ属

がくめい 学名:Juglans regia 英名:(Walnut tree) (イラン原産)





かじつ きゅうけい しゅし しょくよう ・果実:ほぼ球形、種子は食用

ふゆめ ごせい きゅうじょうえんすいけい えんすいけい とが ら が まい がりん ちょうが そくが おお・冬芽:互生、 球 状 円錐形~円錐形で尖る、裸芽、2~3枚の芽鱗、頂芽は側芽より大きい

タラノキ (タランボ) ウコギ科 タラノキ属 (落葉低木)

がくめい 学名: *Aralia elata* 英名: Japanese Angelica-tree







- は ごせい かいうじょうふくよう えださき しゅうちゅう しょうよう まい・葉: 互生、2回羽状複葉、枝先に集 中、小葉は5~9枚 らんけい えんけい たいせい source Route English Research Researc えだ。みき は っけね わかめ しょくよう 枝や幹・葉の付け根にトゲ、若芽は食用(タラの芽)、
- ふゆめ ごせい ちょうが えんすいけい えんすいじょうきゅうけい

 ・冬芽: 互生、頂芽は円錐形 または 円錐状 球形

 _{せんたん} とが まい がりん ちょうが そくが おお **先端はやや尖る、3~4枚の芽鱗、頂芽は側芽より大きい**

まうこん じがた いかんそくこん こくらい なら 葉痕は∨字形または∪字形、維管束痕は30個 位 ネックレスのように並ぶ



